

しんち 議会だより

2018・10・20
No. 159

しんち議会だより
159号 平成30年10月20日



～輝く笑顔、絆を信じて～
9/29 駒ヶ嶺保育所運動会

〈9月定例会〉

- 定例議会の概要 2～7
- 臨時会 8
- 町政を問う 9～11
- 常任委員会レポート .. 12～14
- 傍聴 15
- ようこそ新地町へ 16

発行 福島県新地町議会 福島県相馬郡新地町谷地小屋字楯掛田30番地
編集 議会広報編集委員会 電話0244(62)2190 FAX(62)2160

インタビュー ようこそ新地町へ

豊かな自然に あこがれて

高田地区にお住まいの北原久美さん。新地町の良いところ、望むことなど、お話を伺いました。

新地町に定住しようと思ったきっかけ

以前は多賀城市に住んでいましたが、子どもが産まれて、子どもは自然の中で育てたいと思っていました。また、将来は農業をしたいと考えて住むところを探していた時に、実家からも近いこの新地町に定住を決めました。

プロフィール

北原久美さん (高田地区)
夫と子供3人の5人暮らし
出身は相馬市

現在は、相馬市の農業生産法人で、パプリカの選果、整枝、誘引作業に携わっています。家の畑では季節の野菜を育てています。

町のこんなところが良い

鹿狼山や間もなく再開する海釣り公園など、海や山

の自然が多く豊かなところが良いところだと思えます。また、新地町に定住して2年経ちますが、周りの人たちがみんな優しいところも良いところだと思います。

町への要望

買い物は相馬市にあるスーパーに行きますが、新地町にスーパーがあればそちらを利用したいと考えているので、是非誘致して



ただければと思います。

そして一番の要望は、子育て環境の整備です。小さな子どもがいる中で仕事もしたいと考えていますが、3歳児未満の待機児童が最近増えており、私の子どもも希望の保育所へ入所できず、今は自営業をしている実家に下の子供たちを預けて仕事をしています。待機児童がなくなるよう、早急に対策してほしいと思っています。

編集後記

今年の夏は猛暑と少雨で農業用水が渇水し、鴻ノ巣ダムはダム底の一部が露出するなど水不足が深刻だった。折しも、出穂、開花期前後で最も水を必要とする時期だけに、農家の危機感は大変なものだった。

世界的にも食料需要拡大で農業用水が深刻化しているとのことだが、山の浅い当町にとって水源の確保は大きな課題だ。

一方、今年は日本列島が甚大な災害に見舞われた。特に、北海道では震度7の地震で、多くの尊い命が奪われた。7年前の大震災とよく似ているように思えた。自然の猛威の前では人間の力は遠く及ばない。「人と自然の共生とよく言いつが、対等な関係ではなく、人は自然に生かされていることを、もう一度かみしめたいと思う。」

編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 寺島 浩文 |
| 副委員長 | 齋藤 充明 |
| 委員 | 八巻 秀行 |
| 委員 | 三宅 信幸 |
| 委員 | 吉田 博 |

(齋藤充明)

9月定例会

9月定例会のあらまし

平成30年9月定例会は、9月3日から13日までの11日間の会期で開催され、人権擁護委員、教育委員、監査委員の人事案件や工事請負変更契約など26議案を審査し、原案どおり可決した。

また、12日には2名の議員が一般質問を行った。今議会は、4期16年町政を担ってきた加藤憲郎町長の最後の議会となった。

契約

新地駅周辺エネルギーシステム整備工事請負変更契約

供給能力の増加による設備費等の変更を行うにあたり、工事請負額7694万3520円の増額変更をするため、議会の議決を求めたもの

たが、自営線のループの範囲だけでも、緊急の場合に数日は維持できるようになっているのか。全体の供給力はどんなポテンシャルを持つようになるのか。

今回の工事はループ



▲工事が進むエネルギーセンター

プラ化ということで、仮に一部断線したとしても反対側から電源が供給されるようになってくる。ガスの供給が止まらない限りエネルギーセンターの稼働は続くので、そういった意味では周辺の電源がストップすることはないと考えている。

釣師防災緑地整備工事(その8) 請負契約

防災緑地の植栽整備を行うため、8月9日の公募型プロポーザルの実施により9月5日に決定を付した結果、有限会社伊具緑化福島営業所が、1億947万9600円で落札したので、請負契約を締結するため、議会の議決を求めたもの

主な質疑

問 今回の請負契約でプロポーザルになった理由は。また、何社応募し、何社がプレゼンを行ったのか。

答 プロポーザルの持つメリットで、町の意向や専門業者の工夫などをプレゼンにより把握し、そこを十分に考慮して事業者を決めることが最重要であるとして、プロポーザルを採用した。

応募の数は、説明会は5社で、最終的な応募総数は3社である。

駒ヶ嶺公民館敷地造成工事請負契約

移築する公民館敷地の造

システム、請負契約など可決

新地駅周辺エネルギー釣師防災緑地整備工事

成を行うため、8月20日に指名競争入札に付した結果、株式会社千田建設が、7452万円で落札したので、請負契約を締結するため議会の議決を求めたもの(全員賛成で可決)

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、町



▲釣師防災緑地植樹祭の様子

条例

条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、町

民税、固定資産税、たばこ税について、所要の改正を行うもの(全員賛成で可決)

新地町駒ヶ嶺字原田30番1地先までとして、延長228.8mを新たに町道路線に認定するもの(全員賛成で可決)

(3)

字の区域変更

字の区域の変更及び画定

新地駅周辺地区の土地区画整理事業において、字の区域の変更及び区域の画定による名称を変更するため、議会の議決を求めたもの(全員賛成で可決)

町道

町道路線の認定

道路改良整備を行うため、起点を新地町駒ヶ嶺字原田44番1地先とし、終点を

報告

専決処分の承認

福島県議会議員補欠選挙(相馬市相馬郡新地町選挙区)が、平成30年9月9日に執行されることから専決処分したので、議会の承認を求めたもの(全員賛成で承認)

平成30年10月20日

(2)

平成30年10月20日

平成29年度 決算

一般会計 歳入 94億9千9百万円 歳出 90億5千3百万円を認定

定例議会初日に、決算審査特別委員会を設置し、委員長に遠藤満議員、副委員長に井上和文議員を選任。平成29年度一般会計と6つの特別会計を審査した。審査の結果、すべて認定すべきとした。なお、審査結果は次のとおり。

審査意見

歳入

歳入決算額は94億9927万円で前年度比36億4724万円の減となっているが、町税は21億6762万円で前年度より7025万円の増となり、固定資産税



▲交流センター建設工事

歳出

平成29年度の歳出は、前年度より37億42万円が減少しており、主なものは、普通建設費で36億4945万円、積立金で4億5431万円が減少となった。事故繰越を発生させない取り組みを図られたい。

- (1) 効率的で迅速な事業執行のため、適正な人的配置と職員の健康管理に努められたい。
- (2) 障害者雇用促進法の厳正な運用に努められたい。
- (3) 新地駅周辺市街地復興整備事業は、スピード感ある取り組みを進められたい。
- (4) 子育て支援の充実と共に、福祉施策の展開に万全を期されたい。
- (5) 農林水産業の再生と振興

平成29年度決算状況

会計別	予算額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	10,506,366	9,499,277	9,053,392	445,885
国民健康保険	1,240,263	1,265,708	1,152,804	112,904
介護保険	914,900	812,686	782,115	30,570
後期高齢者医療	164,741	163,063	162,803	259
公共下水道事業	257,972	259,186	216,728	42,457
農業集落排水事業	67,682	66,743	62,828	3,915
新地南工業団地整備事業	420,567	370,164	316,618	53,545
小計	3,066,125	2,937,552	2,693,899	243,653
合計	13,572,491	12,436,830	11,747,291	689,538

- (6) 教育課題解決のための人的配置の充実と、史跡整備は計画的に進められたい。

人事

人権擁護委員

村上 勝則さん(新町)



人権擁護委員の村上勝則さんが平成30年9月30日で任期満了になることから、引き続き推薦され、全員賛成で適任と認められ、再任された。任期は3年。

教育委員会委員

大須賀美穂さん(上ノ町)



教育委員会委員の大須賀美穂さんが、平成30年9月30日で任期満了になることから、引き続き任命したいとのことで、全会一致で同意し再任された。任期は4年。

監査委員

横山 薫さん(中里)



識見を有する監査委員の任期が平成30年9月30日で満了となるので、新たに、横山薫さんを適任者として選任したいとのことで、全会一致で同意した。任期は4年。

決算審査 こんな質問が



▲敬老会での贈呈式

- Q 29年度職員採用試験では必要とされている保育士や技術系の職員が採用できていない。今年度はどうなのか。
- A 保育士2名と技術職員1名に採用通知を出している。
- Q 人事評価制度を実施して29年度で2年目であるが、どのような成果が上がっているか。
- A 超勤の平均的な時間数は少なくなっている傾向にある。それがこの人事評価制度によるものかは今後詳細に分析していく。
- Q 災害応援職員は何年度まで

- Q 復興事業の進捗を見ながら、担当課長と協議をしている。県の派遣についても、継続的に技術職員等に関してお願いしていく。
- Q 29年度に釣師浜海水浴場の調査測量業務を行ったが、31年の再開は大丈夫なのか。
- A 海水浴場は問題ないが、隣接する釣師防災緑地の進捗状況によっては、延びる可能性がある。
- Q 30年度は待機児童が出て問題になった。来年度は解消出来るのか。
- A 未満時の受け入れを増やすため、保育士2名を採用し、新地保育所の

- Q 家庭の焼却灰を一般廃棄物処分場に仮置きしているが、その量はどのくらいか。また最終的にはどう処分するのか。
- A 量は1トンのフレコンパックで144体。最終的には中間貯蔵施設に持って行く予定である。
- Q 29年度で振り込め詐欺など特殊詐欺の被害又は電話などの報告はあったか。
- A 29年度では警察にも役場にも報告は無い。
- Q 老人クラブの加入者数はどの様な推移になっているか。
- A 28、29年度では1名の増。団体数は14団体。

正算 補予

平成30年度一般会計補正予算は、既定の歳入歳出予算にそれぞれ3億9550万円を増額し、総額139億9100万円とする予算が全員賛成で可決された。

財政調整基金積立金に

1億8520万円

慰霊碑設置や保育所改修も

主な歳入補正

地方交付税が326万5千円、基金からの繰入金で3113万9千円、スマー
トコミュニティ導入促進事

業の諸収入で1982万円をそれぞれ減額し、社会資本整備総合交付金などの国庫支出金1179万5千円、農業担い手経営革新支援事業などの県支出金1474万1千円、繰越金3億6215万4千円、起債借入額6103万4千円をそれぞれ増額した。

費508万8千円、慰霊碑設置工事250万円、電子行政費860万円、保育所テ

主な質疑

問 慰霊碑の設置工事は、前の議会への説明では慰霊碑については宗教色があるということ、町では慰霊碑に替えてモニュメントをつくりたいということだった。慰霊碑とモニュメントは同じ場所に建てるのか。
また、議会にも要望書が届いているが、町にも要望書が提出される中で、どのような検討がなされたのか。
答 設置場所はモニュメントと同じ、想いの丘を



▲運動会で元気に踊る保育所の子どもたち

予定している。慰霊碑に関する要望書は、議会および執行部に、遺族の方やそれに賛同する方から出されており、町執行部でも検討を行っている。その中で用地の確保ができ、また震災の想いを後世に残すということで、慰霊碑の後ろの部分に震災遺構の碑文を設けるといこうと進めていきたい。

財政調整基金とは

年度間の財源不足に備えるため、財源に余裕がある年に積み立て、財源が不足する年に活用する目的の基金。

▲駒ヶ嶺保育所テラスを改修



平成30年度主な一般会計補正予算の概要

歳入補正額の主な財源内訳

1. 地方交付税	△ 3,265千円
2. 国庫支出金	11,795千円
3. 県支出金	14,741千円
4. 繰入金	△ 31,139千円
5. 繰越金	362,154千円
6. 諸収入	△ 19,820千円
7. 町債	61,034千円
○歳入合計	395,500千円

歳出補正額の主な事業

1. 総務費	210,971千円
1. 一般管理費	
・ 慰霊碑設置工事	2,500
2. 財産管理費	
・ 公共施設電気設備改修工事	4,590
・ 財政調整基金積立金	185,200
3. 企画費	
・ 備品購入費 (スポーツ施設)	5,088
4. 電子行政費	
・ L G W A N 設備更新業務委託	5,000
・ I R U 光ケーブル移設工事費 等	3,600
2. 民生費	3,461千円
1. 国民年金費	
・ 電算システム修正費	1,331
2. 保育所費	
・ 保育所テラス改修工事 等	15,831
3. 農林水産費	29,102千円
1. 農業振興費	
・ ぶくしまから はじめよう。農業担い手経営革新支援事業	10,000
4. 土木費	150,772千円
1. 道路維持費	
・ 町道維持補修工事	4,000
2. 道路改良費	
・ 道路改良工事	38,500
3. 下水道費	
・ 公共下水道事業特別会計	△ 7,622
4. 復興推進総務費	
・ 東日本大震災復興基金積立金	10,133
・ 東日本大震災復興交付基金積立金	30,399
5. 津波復興拠点整備事業	
・ 複合商業施設周辺外構工事	26,500
5. 消防費	1,904千円
1. 消防施設費	
・ 防火水槽解体工事 (高田地区)	1,700
6. 教育費	571千円
1. 教育振興費	
・ 中体連出場費	1,000
○歳出合計	395,500千円

請願・陳情等(9月定例会)

議会では、地域住民より直接の声となる、請願、陳情、意見等を受付けています。今定例会では、下記の請願等を受付しました。

	件名	提出者	審査結果
請願	◇学校給食費の無料化を求める請願	新日本婦人の会 福島県本部 会長 井上 裕子	採択
	◇県に対し「学校給食費の無料化を求める意見書」提出についての請願		採択 (意見書送付)
	◇国に対し「学校給食費の無料化を求める意見書」提出についての請願		採択 (意見書送付)
陳情	◇国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出を求める陳情	福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志	採択 (意見書送付)

臨時議会

フットサル場建設工事

請負契約など可決

臨時議会が7月30日に開催され、町長から提案された「新地駅前フットサル場建設工事（本体）請負契約」など議案3件を審議し、すべて原案どおり可決した。

契約

新地駅前フットサル場建設工事（本体）請負契約

地方創生事業の復興まちづくりによる、新地駅周辺賑わいづくりとして、テナント膜構造鉄骨平屋立てのフットサル場を建設するため、7月20日に指名競争入札した。その結果、株式会社トーヨー建設が、1億5660万円で落札したため、請負契約を締結するため、議会の議決を求め

るもの
（全員賛成で可決）

新地駅前フットサル場建設工事（管理棟）請負契約

木造1階建ての管理棟を



▲フットサル場建設工事

移築するにあたり、7月20日に指名競争入札した結果、株式会社トーヨー建設が3024万円で落札したため、請負契約を締結するため、議会の議決を求めるもの

主な質疑

問 事故繰越の問題もあり、今回改めて提案されたが、雁小屋仮設住宅団地の集会所を再利用するとのことである。解体をして運んでくるようだが、3、4年たったらまた直すということにならないよう、その辺の設計管理や施工管理は大丈夫なのか。

回答 雁小屋仮設住宅団地集会所を再利用し、フットサル場の管理棟とする。そもそも仮設住宅については、基礎関係、あとは法令関係のところがいぶ省かれていますので、建築本体については通常の建築確認をとるような構造になっています。今回、移築により基礎も新しく作り、法令等も新しくクリアするような形になっているので、耐用年数が著しく悪いということにはならない。
（全員賛成で可決）

階段設置工事請負契約

釣師浜海水浴場の再開に向け避難を兼ね備えた階段を設置するため、7月20日に指名競争入札した結果、相新建設株式会社が、9180万円で落札したため、請負契約を締結するため、議会の議決を求めるもの

主な質疑

問 海水浴再開に向けての階段設置だが、利用者の多くが車で来る。海水浴再開に向けた、そして避難を兼ねた階段を設置することなので、駐車場もその階段の近くに整備すべきではないか。

回答 階段の背後地には現在、防災緑地を整備している。階段のそばには、減災機能としての林帯を構築する関係上、駐車場を整備することは物理的に困難である。
（全員賛成で可決）

ただここを質す!

町政を問う

一般質問

今期定例会の一般質問は、9月12日に行いました。

議員2名からは4件の通告があり、4期16年の総括などについて質しました。

各議員からの質問内容は、左記のとおりです。
以下、主な質問と答弁を、登壇した順にお知らせします。

一般質問とは

一般質問は、町の行政全般に関し、執行者所見や疑義について質問できる。質問者は、事前に質問内容を通告する。

質問時間は、1人40分以内で、執行部の答弁時間の制限時間は設けていない。

なお、当議会では平成28年12月議会から試行的に、一問一答方式を導入し、時間内であれば何度でも再質問ができる。

議会を傍聴しませんか

★次回の定例会は、12月初旬開会の予定です。

議会は、所定の用紙に必要事項を記入して頂くことにより、どなたでも自由に傍聴することができます。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

議会事務局（新地町役場3階）☎62-2190（直通）

2名の議員が質問

（通告順）

寺島浩文議員 P10

- 1 4期16年を総括して

井上和文議員 P11

- 1 地域公共交通の充実について
- 2 保育所の建て替え問題について
- 3 教育行政の充実



寺島浩文 議員

4期16年の総括は

町長 町政発展のため渾身の力を注いできた

議員 加藤町長は6月議会において、復興の道筋を付ける事が出来たので、次の人にバトンタッチする時が来たと言う事で、次の町長選挙には出馬せず、引退する事を表明された。8月26日には町長選挙が行われ、新たな町長も決まった。加藤町長は9月25日までの任期で退任されるが、この4期16年をどの様に総括されるのか。



▲JR常磐線運転再開セレモニー

町長 平成14年9月より4期16年の間、町長として新地町を愛し、町政発展のため渾身の力を注いできた。4期16年の総括については「新地町総合計画」に基づく町づくりに努めてきた。町民が主役の町づくりを政治基本とし、町民の皆さんの幸せを第一に町民との触れ合いと対話を大切に、分かりやすく開かれた町政を町民の皆さんとともに進めてきた。就任して間もなく国の三位一体の改革と、行財政基盤の確立推進を図る平成の合併と言う時代の転換期があった。この2つの課題に対しては、行財政プランで将来の見通しを定め、最小の経費で最大の効果をあげるといふ、将来の見通しも立ったことから、住民と議論を交えながら「新地

町は自立の道を歩む」として相馬市との任意合併協議会解散の申し入れを行い、今の新地町があると思っている。産業振興や少子高齢化、教育など時代の流れを的確に捉えた町政を進め、順調に調整が進んでいく中であの東日本大震災が発生した。町内産業はもとより各種事業が大きな打撃を受けたが、常磐自動車道の全面開通、相馬福島道路の一部開通、JR常磐線の再開通、重要港湾相馬港の交通インフラ整備が行われる中、新地町南工業団地の造成、新地町周辺市街地復興整備など各種産業インフラ整備を行い、県や関係機関と連携し、相馬LNG基地や福島ガス発電など企業誘致を図り産業の創出と雇用創出・拡大に繋げて来た。交流人口拡大では豊かな自然環境を活用し、釣師浜海水浴場、海釣り公園、鹿狼山登山道の整備に努めてきた。教育面では食の安全や、地場産物の使用による「つ

ながる食育」推進事業を行い地産地消に努めてきた。またICTを活用した先進的な事業を進め、今では全国各市町村からの視察研修の町となっている。復興事業では一早い自立再建を願い、防集団地や災害公営住宅の整備を行い、新地町周辺整備では新地スマートエネルギー(株)の設立、ホテル・温浴施設、さらにスマートアグリなどの民間事業者の誘致や、交流センター、複合商業施設、フットサル場、定住促進住宅の建設で駅周辺の賑わい創出と定住促進を図っている。4期16年の間多くの困難もありましたが、その任を全うすることが出来たのも議会並び町民の皆様の暖かいご理解と支援があったからであり深く感謝している。今後は町民、議会、行政が力を合わせ、「住んで良かった、住んでみたい」と言う町づくりの実現に向けて新町長に町政を託してまいり存である。

計画的な保育所の建て替えを

町長 子育て世代のニーズに沿った整備を図る



井上和文 議員

議員 今年度、新地保育所が始まって以来、初めて14人の待機児童が出て、マスコミにも報道され大きな衝撃と議論があった。特に、0歳児の待機児童解消のため、当初予算570万で福田保育所に調乳室を増設する予定だったが耐震に問題があり新地保育所の会議室を改造して対応したいとの経過もあった。福田保育所は、昭和55年建築で、鉄骨造りで38年経過、新地保育所は昭和56年建築、鉄筋コンクリート造りで、37年経過、駒ヶ嶺保育所は昭和59年建築、鉄筋コンクリート造りで、34年経過して、修理費等もそれぞれかかっているが、子供を預かる施設である以上、安心安全を追求しなければならぬ。新地保育所の改築は、コンクリートの壁に出入り口をつけるようだが、設計者、現場の保育士さんたちと十分に協議して進めるとともに、計画的な建て替えも検討する時期

にきていると思う。財源や人材の確保、配置が大事だ。町長 町内保育所の施設は、築30年以上が経過し、今議会にも駒ヶ嶺保育所のテラス工事を提案した。町では公共施設等管理計画の中で、築後、30年で大規模改修、60年で建て替えをすることを考えて福田保育所は旧耐震基準により改築等を行う際に耐震工事が伴ってくるので、今後、改修又は、改築について検討する。平成31年度に第2期子ども子育て支援計画の策定を目指しているが、子育て世代のニーズに対応した整備を図る。公立保育所の施設整備は平成18年度の国の三位一体の改革により補助制度が廃止となり、施設整備を行う際は、事業費財源を地方債であて、その一部が地方交付税に措置されるが、大半が一般財源となる。また、子どもたちの数を見据えながら計画的な保育士の確保、採用に努めていく。



▲通学路の緊急合同点検を実施

通学路の安全、総点検を

町長 9月中旬に緊急合同点検を実施する。

議員 6月18日に発生した大阪北部地震により小学校プールのブロック塀が倒壊し、その塀に挟まれた女子児童がなくなるといふ痛ましい事故が発生した。文科省は全国の学校に点検を要

請し、具体的な安全確保策を検討するとしている。国交省は、6月26日付けで「ブロック塀等の撤去等に係る支援に防災安全交付金の効果促進事業とすることが可能」との通知を出したが、通学路の安全対策を図るべきだ。また就学援助入学準備金は入学前支給を実施された。町長 町では平成27年度から交通安全プログラムを策定し、安全点検を実施しているが、9月中旬に防犯面と危険ブロック塀箇所を含めた緊急合同点検を実施する。また、防災安全交付金等、情報を集め研究し安全確保につなげたい。援助を必要とする適切な時期に速やかに支給が行えるよう例規の改正をして、来年度入学予定の児童生徒には入学前の適切な時期に援助を実施したい。

委員会 レポート

産業厚生常任委員会

待機児童の解消を

7月24日、「子育て支援の現状と課題」について、町長、町民課長及び関係職員の出席を求め、審査、現地調査を行った。

平成30年4月1日現在の保育所入所者数は287名で、正職員23名、臨時常勤職員11名（うち嘱託4名）、保育補助員17名、調理員3名、臨時調理員7名で対応



▲福田保育所の現地調査

している。今年度は、保育スペースの問題や産休・育児等取得している職員もいるため、これまでにない14名の待機児童が出た。0歳児保育も含め、産休・育児に対応する職員の補充ができていないという課題があり、関係部署と連携を取りながら計画的な人材確保に全力を尽くさるたい。

0歳児の待機児童解消のため、当初予算570万円で福田保育所に調乳室を増設する予定であった。しかし、調査をしたところ、保育所の耐震に問題があり、補強をするか改築をするかで検討中とのことだが、駒ヶ嶺保育所や新地保育所等の状況もよく調査をし、0歳児の待機児童解消を急がりたい。

就農支援・子育て支援

先進地視察

産業厚生常任委員会では島根県津和野町で「就農支援」について、山口県周南市で「子育て支援」について研修した。

就農しやすい環境

島根県津和野町は、面積が約307平方メートルで、人口は約7500人。津和野町では地域、JA、県と連携して新規就農希望者を全面的にバックアップしている。農業技術については、3日〜1週間程度プレ農業体験をしてから、就

は、子育てに対する支援なども行っている。また、農業の後継者問題については、町内農家の後継者のみならず、都心部のIターン希望者をターゲットにイベント参加を募るなど、都心部へのアプローチに力を入れている。その成果もあり、直近3年間はIターンの新規就農がUターンの新規就農を上回っている。

▲津和野町で就農支援研修



農希望者と受入農家の意向が合致するよう町が仲介している。

資金については、国や県の事業のほか、町事業も活用し、研修から就農後も切れ目なく生活面・施設機械整備の支援をしている。その他にも、家族連れの方に

柔軟な姿勢がある印象で、行政の補助制度充実のほか、住民も移住者がとけ込みやすい雰囲気を作っている。また、農業の後継者問題については、町内農家の後継者のみならず、都心部のIターン希望者をターゲットにイベント参加を募るなど、都心部へのアプローチに力を入れている。その成果もあり、直近3年間はIターンの新規就農がUターンの新規就農を上回っている。

充実した 子育て支援

山口県周南市は、平成の大合併の先駆けとなる、平

成15年4月に旧2市2町の新設合併により誕生した。面積は約656平方メートル、人口は約144,400人。「子育てするなら周南市」のキャッチフレーズの元、周南市は人口14万人の都市で待機児童がゼロとなっている。就労形態の多様化に対応して、通所の保育サービスに加え、延長保育、一時預かり保育、ファミリーサポートセンターなど、それぞれのニーズにあった子育て支援の充実を図ることで、働きながらでも子育てのしやすい環境づくりに努めている。

▲周南市で子育て支援研修



特に、乳幼児を抱える子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを進めるため、公共施設

のほか民間施設の協力を得ておむつ替えや授乳ができる「赤ちゃんの駅」を市内に整備し、地域全体で子育てを支える仕組みづくりをしている。民間企業へも広がり、平成29年度末では58施設が登録されている。また、サポートセンター事業については、1時間あたりの利用料金が発生するが「再就職先を探しに職安へ」「ちよつと買い物」などの短時間から利用できるため、利便性が高いことから利用者も多い。また、利用者が「お世話になったので、今度は預かる側になる」という循環も出ている。

結婚して周南市に移住してきたが、「どこに、誰に相談していいかわからない」という子育て世代のお母さんの精神的サポートにも力を入れている。

委員会 レポート

総務文教常任委員会

教室にエアコン設置を

7月3日、「学校訪問（小・中学校）」について、教育長、教育総務課長、及び関係職員の出席を求め、審査、現地調査を行った。

学校訪問（小・中学校）では、各学校の授業参観、校舎見学や校長との懇談を通し議論を深め、学力向上のために学校側から学習支援員の増員やICT支援員

の維持増強について、強い要望を頂いた。
また今後は、ICT機器やPCの更新を年次ごと、計画的に進める必要がある。
そして、各教室のエアコン設置については、学習環境向上のため整備促進を図るべきである。



▲学校訪問

8月8日、「新地駅周辺のまちづくり進捗状況」について、町長、企画振興課長及び関係職員の出席を求め、審査、現地調査を行った。

新地駅周辺のまちづくり進捗状況については、エネ



▲エネルギーセンター整備工事の進捗を確認

新地駅周辺事業の 早期完成を

ルギーセンターを中心それぞれ別の事業を現地調査した。

新地駅周辺エネルギーシステム整備工事については、進捗率60%からなり予定通り工事が進められている。

その他の事業については、予定通りの完了が求められる。特に複合商業施設とインキューション施設工事は、議会から「年内の開店を」と要望されていたので、早期の完了を指導された。エネルギーセンターが完成しても、その他の施設工事が完了されなければフル稼働出来ない。新地スマートエナジー株式会社の経営にも影響するため、すべての事業に目を配られたい。

また、未利用敷地もあるので、早急に事業計画され、スマートコミュニティ事業の目的を達成されたい。



議事を傍聴して

尚英中3年生8名が 議事を傍聴した。

「今、こんなことが問題なのか。」「新地町はどのような取り組みをしているのか。」などがよく分かりました。町の問題について親身になって考えている議員さんの姿は素晴らしいと思いました。誰かのためにという気持ちがなければ、務まらない仕事だと思えます。僕も新地町の役に立てるよう、この体験を今後の生活に活かしていきたいと思えます。

(阿部哲也)

僕が議事を傍聴して思ったことは二つあります。一つ目は、テレビで見るとは雰囲気は全く違うことです。国会中継を見たことがありますが、実際に議場に入ると緊張しました。議員さんの質問には、色々な思いが込められてい

るのだなと思いました。

二つ目は、議員さんの質問に、役場の方が答えた場面が印象的でした。どちらか町のことをしっかり考えているのだなと思いました。

(石田悠真)

議員の皆さんは、町のことを第一に考えて議論しており、特に町の改善すべきところを指摘しながらも、お互いの意見を尊重しているところに感動しました。新地町に住みやすく、親しみやすい町である理由が分かりました。

(太田祐藏)

初めて議事を傍聴し、議員の方や役場の方々が新地町のことを一生懸命考えてくれていることが分かり、とても嬉しかったです。一般質問では、ひとつかふたつの事について議論していたので、さらに別の質問も聞いてみたかったです。

(菊地遥稀)

僕が議事を傍聴した時に、議員の方が何回も言っていた言葉がありました。それは「住民のために」という言葉です。それを聞いて僕は、議員の皆さんは常に町の人達を第一に考え、町の人達の生活を少しでも良くしようと、皆で意見を出し合っているのだなと思いました。このように働く姿を見て、僕も将来町のことを第一に考え、町のために活躍できるような仕事につきたいと思いました。

(木村憲幸)

僕が議事を傍聴して思ったことは、役場の人や議員さんたちは、町民思いだということです。役場の人たちは、議員さんからの意見に、しっかりと答えていました。また、将来の新地町のことについて具体的に話をしていてすごいと思いました。

(佐藤元太)

議事を傍聴して、最初は

国会で見るとな討論ではなかったけれど、後半になるにつれ、一人一人の話す時間が短くなり、役場の人と議員さんの討論は見応えがありました。どの議員さんも新地町をより良くするために発言し、それに対して役場の人が今後どのような方針でいくのかを話していたので、これからの新地町が、もっと良い町になることを期待したいです。

(寺島大智)

議員の方や役場の方が、自分たち学生やお年寄りについて話し合ってくれていて、とても嬉しかったです。町民のことをしっかり考えてくれているのだなと思いました。議員の方が、議会の始まる前や終了後に明るく話かけてくれたので、優しい方々だと感じました。とても活発な話し合いで、自分たちが話し合いをするときのお手本にしたいです。

(目黒陽都)